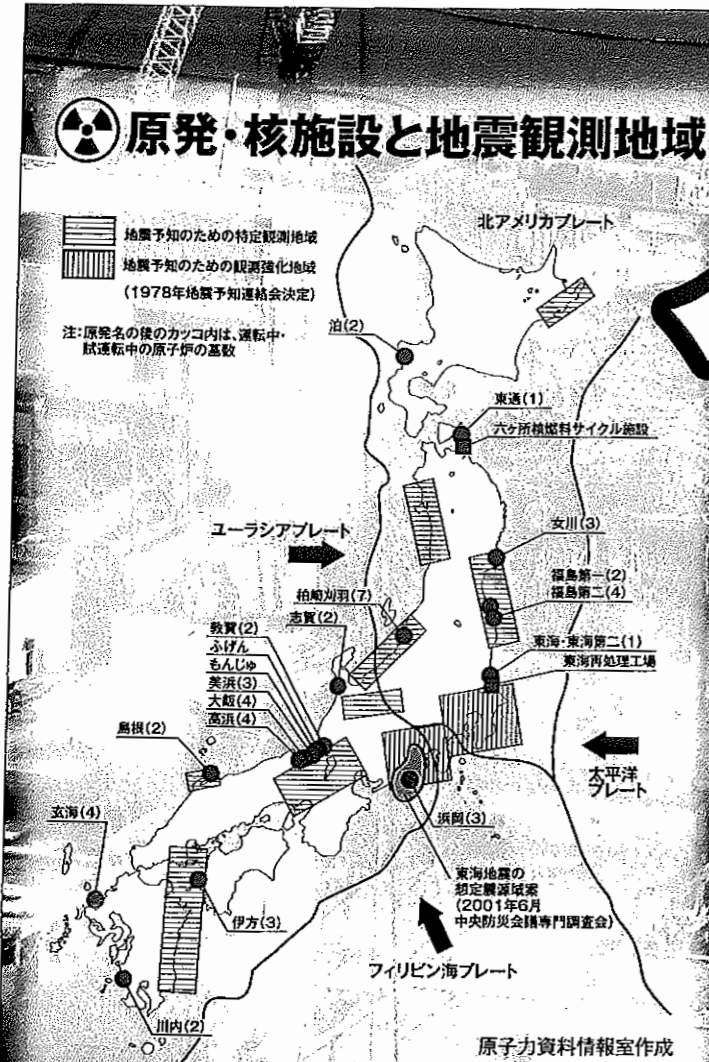


意見広告

# ノーモア 原発震災

## 地震大国日本に、原発・核燃料サイクルは到底ムリです 一刻も早い脱原発を!



福島大熊町上空より。ひだりから福島原発3号機と4号機。2012年3月16日。写真 / 広河隆一(フォトジャーナリスト)

### 地震多発地帯と原発

- **アメリカ** は100基以上造ったが、そのほとんどは地震のない東海岸に
- **ヨーロッパ** は150基造ったが、カンブリア台地という地震が全くない大地に
- **イタリア** は地震国で、チェルノブイリ事故後は、運転していた3基を廃炉にし、建設中、計画中也を含め12基全ての原発から撤退
- **ニュージーランド** は原発ゼロ。2025年までに、再生可能エネルギーを90%に
- **カナダ** の19基は、西海岸にはゼロ
- 地震大国で53基の原発と核施設を造った **日本** は異常
- 3.11以降、地震活動は活発化し、南海トラフの巨大地震も近い
- 全国どの原発も直近に活断層があり、近年、大地震のない所も危ない(例:福井)

### 再稼働状況

現在稼働中の原発

伊方原発3号  
川内原発2号

再稼働許可が下りた原発

美浜原発3号  
高浜原発3・4号(停止中)

再稼働申請中の原発  
—11原発17基—

泊原発	大飯原発
玄海原発	東通原発
女川原発	柏崎刈羽原発
浜岡原発	志賀原発
島根原発	東海第二原発
敦賀原発	

## ① 原発再稼働の中止を求めます

### 1. 「原発ゼロ」でも電気は足りている

2011年以降、全国最大の電力量は下り、1993年並みに。人口減少は進み、電力自由化も始まり、よりいっそうの省エネ・節電・自然エネルギーの促進、天然ガスやコジェネレーション(熱電併給)・大型燃料電池の普及等が進むでしょう。危険で高い原発は全く不要です。

### 2. そもそも原発は非常に高い

福島原発事故で莫大な費用がかかる事が明白となり、今まで隠されてきた核のゴミの後始末には、今後、天文学的な数字の費用が、未来の子ども達への負の遺産となります。元電力会社のトップが「18年間、歴代の首相7人や自民党有力者に年間数億円を裏金として献金していた」と告白。それは政治献金廃止決定後も続き原資は全て電気料金でまかなわれたのです。又、莫大な広告費も、立地自治体への交付金も、湯水のように使われてきたのです。

### 4. 止まっても危険!動けば更に増える核のゴミ

すでに全国の使用済み核燃料貯蔵量(猛毒の核のゴミ)は約1万7千トンもあります。核のゴミは各原発敷地と六ヶ所再処理工場でプール保管冷却されています。地震の激動期に入った日本で、いつ、どの原発が地震や津波で電源を失い、冷却できなくなって、福島第一原発4号機のように止まっても爆発するかもしれない状態です。ましてや再稼働すれば、やっかいな核のゴミがますます増え、リスクを高めます。今や日本は核のゴミ屋敷なのです。

### 5. 原因究明も事故の収束もできていない

事故の原因究明なしに対策は打てません。しかし、強い放射能で調査できないのに規制委員会は「新基準」を作り、再稼働の審査をし、合格を出しています。溶けた燃料が今、どこにあるのか?汚染水が日々、海へと漏れ続けています。一方、汚染水を貯めるタンクは増え続け、限られた敷地では早晩、破綻します。

核燃料サイクルの中止を求めます

## 地震多発地帯と原発

- **アメリカ** は100基以上造ったが、そのほとんどは地震のない東海岸に
- **ヨーロッパ** は150基造ったが、カンブリア台地という地震が全くない大地に
- **イタリア** は地震国で、チェルノブイリ事故後は、運転していた3基を廃炉にし、建設中、計画中も含め12基全ての原発から撤退
- **ニュージーランド** は原発ゼロ。2025年までに、再生可能エネルギーを90%に
- **カナダ** の19基は、西海岸にはゼロ
- 地震大国で53基の原発と核施設を造った **日本** は異常
- 3.11以降、地震活動は活発化し、南海トラフの巨大地震も近い
- 全国どの原発も直近に活断層があり、近年、大地震のない所も危ない(例:福井)

## 再稼働状況

現在稼働中の原発

伊方原発3号  
川内原発2号

再稼働許可が下りた原発

美浜原発3号  
高浜原発3・4号(停止中)

再稼働申請中の原発  
—11原発17基—

泊原発 大飯原発  
玄海原発 東通原発  
女川原発 柏崎刈羽原発  
浜岡原発 志賀原発  
島根原発 東海第二原発  
敦賀原発

# 1 原発再稼働の中止を求めます

### 1. 「原発ゼロ」でも電気は足りている

2011年以降、全国の最大電力量は下り、1993年並みに。人口減少は進み、電力自由化も始まり、よりいっそうの省エネ・節電・自然エネルギーの促進、天然ガスやコジェネレーション(熱電併給)・大型燃料電池の普及等が進むでしょう。危険で高い原発は全く不要です。

### 2. そもそも原発は非常に高い

福島原発事故で莫大な費用がかかる事が明白となり、今まで隠されてきた核のゴミの後始末には、今後、天文学的な数字の費用が、未来の子ども達への負の遺産となります。元電力会社のトップが「18年間、歴代の首相7人や自民党有力者に年間数億円を裏金として献金していた」と告白。それは政治献金廃止決定後も続き原資は全て電気料金でまかなわれたのです。又、莫大な広告費も、立地自治体への交付金も、湯水のように使われてきたのです。

### 3. 狭い日本「避難は不可能」

米国では、有効な避難計画がないと原発を動かさせません。日本では規制委員会も政府も避難計画を自治体に丸投げして責任を押しつけています。避難計画とはヒバクを避けるためのもの。放射能が出る前に避難しなければ無意味です。現実には、皆が車で逃げ出せば幹線道路は渋滞し、天候次第では陸路も海路も不可能に。なにより地震で道路が寸断されたら絶望です。また「避難弱者」(要介護の病人や老人、障がい者)の移転先と移動手段の確保が全国的にできていません。過酷事故を想定すると250キロ圏外など狭い日本には、どこにもありません。避難は不可能です。自治体は住民が安全に避難できないのに再稼働を認めないで下さい。そもそも、なぜ不要な電気のために住民が命をかけ、避難しなければならないのでしょうか。

### 4. 止まっても危険!動けば更に増える核のゴミ

すでに全国の使用済み核燃料貯蔵量(猛毒の核のゴミ)は約1万7千トンもあります。核のゴミは各原発敷地と六ヶ所再処理工場プール保管冷却されています。地震の激動期に入った日本で、いつ、どの原発が地震や津波で電源を失い、冷却できなくなって、福島第一原発4号機のように止まっても爆発するかもしれない状態です。ましてや再稼働すれば、やっかいな核のゴミがますます増え、リスクを高めます。今や日本は核のゴミ屋敷なのです。

### 5. 原因究明も事故の収束もできていない

事故の原因究明なしに対策は打てません。しかし、強い放射能で調査できないのに規制委員会は「新基準」を作り、再稼働の審査をし、合格を出しています。溶けた燃料が今、どこにあるのか?汚染水が日々、海へと漏れ続けています。一方、汚染水を貯めるタンクは増え続け、限られた敷地では早晩、破綻します。安倍総理が言った「コントロール下にある」とはほど遠い状況です。

### 6. 日本の原発は「世界最高基準の安全性」というウソ

安倍総理は「日本が最高の安全基準」と大見得を切りましたが、フィンランドのオルキオ原発に見られるように西欧では格納容器を二重の壁で覆いテロ対策とし、メルトダウン・メルトスルー対策として溶けた燃料を受け止めるコアキャッチャーを設けています。日本の原発にはこれらの対策はないのです。また、ベントにフィルターが付いていません。加圧水型にはベントもありません。

結論

各地の裁判でも、続々と運転差し止めの判決が出、県知事選でも、再稼働反対の人が選ばれています。危険で高い原発をムリヤリ動かしてはならないのです。

# 2 核燃料サイクルの中止を求めます

### 1. 核燃料サイクル政策とは

全国の原発から出た使用済み核燃料を、六ヶ所村に集めて再処理し、ウランと高レベル廃棄物とプルトニウムに分類し、取り出したプルトニウムを高速増殖炉もんじゅで燃やし、又専用の再処理にかけてプルトニウムを増殖させ、何度も燃料として使うという夢の計画。全体ですべてに13.2兆円をかけています。

### 2. もんじゅ廃炉、ほぼ決定

約半世紀かけて、1.2兆円の税金を使い、度重なる事故で何の役にも立たず失敗しています。今後も続ければ10年で6000億円+廃炉費用3000億円。廃炉だけならば3000億円で安いことから、国はようやくもんじゅ廃炉を決意しました。

### 3. 破綻した核燃料サイクルをまだ継続?

しかし国は、相変わらず再処理を続け、高速炉(増殖炉も含む)計画を続けるという方針で、もんじゅに代わる炉として実証炉案を出し、増殖と減容という全く異なる機能を持たせることを目標にしているようです。フランスとの共同開発・アストリッドには5700億円という巨額の費用の折半が求められています。又、日本独自に「もんじゅ2」を建設する構想もあるようですが、いつまで国民を危険な目にあわせるのか、愚の骨頂です。八方塞がりの現実を見ないのは、戦争を終結できなかった戦中の内閣と同じです。

### 4. 増殖も減容も不可能

減容とは、高レベル廃棄物を減らす研究ですが、プルトニウムとナトリウムを使い、増殖以上に技術的に難しく、新たな施設がいくつも必要になり、費用も高額です。しかもゴミは減らずむしろ増えるといひます。先陣を切っていたアメリカもすでに断念しています。

### 5. 再処理の危険性

世界でも、この化学プラントは大変厄介で、大きな事故を起こしています。1957年「ウラルの核惨事」 1977年「ドイツの再処理工場」 1980年「フランスのラ・アーグ」 1986年「アメリカのハンフォード」

### 6. 六ヶ所村の再処理工場

ガラス固化に失敗し、23回も延期。プールには2968トンの使用済み核燃料があり、240mlの高レベル放射性廃液がタンクにあります。再処理のほうが直接処分より約2倍高いことは国も認めています(2012年原子力委員会・小委員会の試算)。

### 7. 地震・津波の危険性

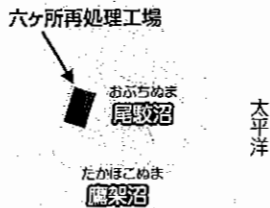
尾駸沼と鷹架沼に挟まれた位置にあり、太平洋に直結。海岸から5キロ。過去に大きな津波がありました。地震や津波で冷却できなくなれば東北から北海道が廃墟になる大惨事になります。

### 8. 余剰プルトニウム問題

日本は今、48トンの余剰プルトニウムを保有し、そのうち36キログラムは98%という高純度の核兵器級プルトニウムです。潜在的な核兵器保有国として世界から疑惑を持たれています。

結論

もんじゅを止めたら再処理は全く無意味。無駄で危険な再処理も中止すべきです。核燃料サイクルは百害あって一利なし。使用済み核燃料は早急に乾式キャスクにして、各原発サイトへ。



2016年6月30日現在、福島県民調査報告書  
小児甲状腺ガン及び疑いのある子どもは174人

これ以上  
ヒバクさせないで!!

♣ご協力をお願い

この広告は全国の団体・個人の賛同金によるものです。まだ必要額に達していません。ぜひご協力をお願いいたします。「意見広告市民の会(ストップ・ザ・もんじゅ)」までお問い合わせください。



福島の子どものための保養施設「沖繩・球美の里」で甲状腺検査を受ける子ども。沖繩・球美の里では保養中、プログラムの中のひとつとして、協力医師による子どもたちの甲状腺検査もおこなっている。2015年 写真/広河隆一(フォトジャーナリスト)

ストップ・ザ・もんじゅ 〒573-0028大阪府枚方市川原町1-5 代表:池島美紀子 TEL.072-843-1904 FAX.072-843-6807  
mail:stopthemonju@sannet.ne.jp ※ホームページは「すどつぷざもんじゅ」で検索

# 1. 核燃料サイクル政策とは

全国原発から出た使用済み核燃料を、六ヶ所村に集めて再処理し、ウランと高レベル廃棄物とプルトニウムに分類し、取り出したプルトニウムを高速増殖炉もんじゅで燃やし、又専用の再処理にかけてプルトニウムを増殖させ、何度も燃料として使うという夢の計画。全体ですら13.2兆円をかけています。

# 2. もんじゅ廃炉、ほぼ決定

約半世紀かけて、1.2兆円の税金を使い、度重なる事故で何の役にも立たず失敗しています。今後も続ければ10年で6000億円+廃炉費用3000億円。廃炉だけならば3000億円で安いことから、国はようやくもんじゅ廃炉を決意しました。

# 3. 破綻した核燃料サイクルをまだ継続?

しかし国は、相変わらず再処理を続け、高速炉(増殖炉も含む)計画を続けるという方針で、もんじゅに代わる炉として実証炉案を出し、増殖と減容という全く異なる機能を持たせることを目標にしているようです。フランスとの共同開発・アストリッドには5700億円という巨額の費用の折半が求められています。又、日本独自に「もんじゅ2」を建設する構想もあるようですが、いつまで国民を危険な目にあわせるのか、愚の骨頂です。

八方塞がりの現実を見ないのは、戦争を終結できなかった戦中の内閣と同じです。

# 4. 増殖も減容も不可能

減容とは、高レベル廃棄物を減らす研究ですが、プルトニウムとトリウムを使い、増殖以上に技術的に難しく、新たな施設がいくつも必要になり、費用も高額です。しかもゴミは減らずむしろ増えるといえます。先陣を切っていたアメリカもすでに断念しています。

# 5. 再処理の危険性

世界でも、この化学プラントは大変厄介で、大きな事故を起こしています。

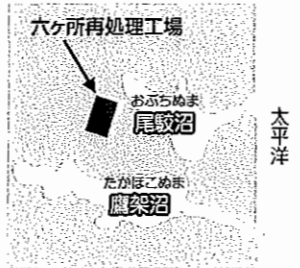
1957年「ウラルの核惨事」 1977年「ドイツの再処理工場」  
1980年「フランスのラ・アーグ」 1986年「アメリカのハンフォード」

# 6. 六ヶ所村の再処理工場

ガラス固化に失敗し、23回も延期。プールには2968トンの使用済み核燃料があり、240mlの高レベル放射性廃液がタンクにあります。再処理のほうが直接処分より約2倍高いことは国も認めています(2012年原子力委員会・小委員会の試算)。

# 7. 地震・津波の危険性

尾駮沼と鷹架沼に挟まれた位置にあり、太平洋に直結。海岸から5キロ。過去に大きな津波がありました。地震や津波で冷却できなくなれば東北から北海道が廃墟になる大惨事になります。



# 8. 余剰プルトニウム問題

日本は今、48トンの余剰プルトニウムを保有し、そのうち36キログラムは98%という高純度の核兵器級プルトニウムです。潜在的な核兵器保有国として世界から疑惑を持たれています。

もんじゅを止めたら再処理は全く無意味。無駄で危険な再処理も中止すべきです。核燃料サイクルは百害あって一利なし。使用済み核燃料は早急に乾式キャスクにして、各原発サイトへ。



日本では規制委員会も政府も避難計画を自治体に丸投げして責任を押しつけています。

避難計画とはヒバクを避けるためのもの。放射能が出る前に避難しなければ無意味です。現実には、皆が車で逃げ出せば幹線道路は渋滞し、天候次第では陸路も海路も不可能に。なにより地震で道路が寸断されたら絶望です。また「避難弱者」(要介護の病人や老人、障がい者)の移転先と移動手段の確保が全国的にできていません。過酷事故を想定すると250キロ圏外など狭い日本には、どこにもありません。

避難は不可能です。自治体は住民が安全に避難できないのに再稼働を認めないで下さい。そもそも、なぜ不要な電気のために住民が命をかけ、避難しなければならないのでしょうか。

2016年6月30日現在、福島県民調査報告書  
小児甲状腺ガン及び疑いのある子どもは174人

これ以上  
ヒバクさせないで!!

NUKE IS OVER

この広告は全国の団体・個人の賛同金によるものです。まだ必要額に達していません。ぜひご協力をお願いします。  
「意見広告市民の会(ストップ・ザ・もんじゅ)」  
までお問い合わせください。

〒573-0028大阪府枚方市川原町1-5 代表:池島美紀子 TEL.072-843-1904 FAX.072-843-6807  
mail:stopthemonju@sannet.ne.jp ※ホームページは「すとつぶざもんじゅ」で検索

# 6. 日本の原発は「世界最高基準の安全性」というワソ

安倍総理は「日本が最高の安全基準」と大見得を切りましたが、フィンランドのオルキオ原発に見られるように西欧では格納容器を二重の壁で覆いテロ対策とし、メルトダウン・メルトスルー対策として溶けた燃料を受け止めるコアキャッチャーを設けています。日本の原発にはこれらの対策はないのです。また、ベントにフィルターが付いていません。加圧水型にはベントもありません。



各地の裁判でも、続々と運転差し止めの判決が出、県知事選でも、再稼働反対の人が選ばれています。危険で高い原発をムリヤリ動かしてはならないのです。



福島の子どものための保養施設「沖縄・球美の里」で甲状腺検査を受ける子ども。沖縄・球美の里では保養中、プログラムの中のひとつとして、協力医師による子どもたちの甲状腺検査もおこなっている。2015年 写真 / 広河隆一(フォトジャーナリスト)

## 呼びかけ人

【北海道】齊藤武一 【青森】浅石絃爾 【岩手】永田文夫 【福島】武藤類子 【東京】坂本龍一 湯川れい子 西尾漢 柳田真 侯野尚子 【静岡】鈴木卓馬 【新潟】武本和幸 【石川】中垣たか子 【岐阜】所やなぎ 【福井】中島哲彦 宮下正一 【三重】柴原洋一【滋賀】堀村守 【奈良】堀田美恵子 【京都】瀬戸内寂軒 越田功 藤井悦子 【大阪】小林圭二 田淵直 服部良一 中北龍太郎 池島美紀子 【兵庫】高橋秀典 北上哲仁 【広島】木原省治 【愛媛】大野泰子 【福岡】深江守 【鹿児島】向原祥隆

## 賛同団体

なくそう浜岡原発・命とふるさとを守る藤枝市民の会 さよなら原発神戸アクション ふぁみん大阪 健康アメニィたのしんぼう 浜岡原発を考える静岡ネットワーク 安倍川製紙労働組合 静岡県労働組合共済会 ともよう原発関西ネットワーク 豊中市退職教職員協議会 平和と民主主義をめざす全国交歓会 原発震災を案じる石川県民 緑の大阪 フェルノブイリ ヒバクチャ救援関西 三陸の海・岩手の会 ノーニクス・アジアフォーラム・ジャパン 若狭の原発を案じる守口市市民の会 福井から原発を止める裁判の会 21世紀脱被ばく裁判の会 「子ども脱被ばく裁判の会」 STOP原子力! 関西電圧団行動のみずの会 NPO法人安全な食べものネットワーク・オルター 吉祥院病院・脱原発の会 よつ葉ホームデリアーリー 京滋 脱原発政策実現全国ネットワーク とめようもんじゅ! 関西連絡会 リサイクルショップるばく 自然環境センター ストップ・ザ・もんじゅ 「国の理想」ネットワーク 原発の危険性を考える宝塚の会 弁護士法人きふくらぼ 東播地域人権 運動連合 社民党兵庫連合 東部大阪共同購入会 核燃料サイクル阻止1万人訴訟原告団 平和・人権・民主主義を考える 西濃漁業法集実行委員会 はりねずみ工房と仲間たち 九大生協労組 ふぁみん婦人民主クラブ エスパント友会の会 よつ葉ホームデリアーリー 川西 兵庫県地域人権運動連合 原水爆禁止新潟県協議会 秋田県平和労働組合 夕雲株式会社 9条連近畿 奈良脱原発ネットワーク 原発震災を考える堺の会 六甲増う会 「技術と社会」資料館 広尾九条の会 神戸国際キリスト教会 福知山たわまきアクション 広島・長崎全国統一実行委員会 名古屋YWCA アジェンダプロジェクト 安全農産供給センター 緑の党グリーンズ京都 原発はごめんだ ヒロシマ市民の会 脱原発わかやま 原発いらない!! ちは 三多摩たばこの研究会 関西よつ葉連絡会 大阪平和人権センター 原子力資料情報室 酒井ひろゆきとともに歩む会 みどり奈良 日本の伝統食を考える会 フクシマ原発労働者相談センター 関西よつ葉連絡会 大阪産地直送センター 市民のひろば 百歳YWCA ストッププルトニウムネットワーク 佐野医院 全港湾関西地本大阪支部 のこの会 原発設置反対小浜市民の会 さよなら玄海原発の会・久留米 公益財団法人健和会 9条連近畿北部 寝屋川教職員組合 反原発連帯 原発とめよう秩父人 戦争あかん! 尼崎女たちの会 全交関電前プロジェクト 大阪府教職員組合 鳥取自然保護の会 生活協同組合兵庫いきいきこープ 長崎県退職女性教職員会 原子力発電に反対する福井県民会議 JR西労関西地本本部 みずまじグループ 静岡県中部地区労働組合会議 管理職ユニオン・関西 八戸マラソックスの会 緑の党グリーンズジャパン ふたば幼稚園 新社会党大阪本部 奈良平和フォーラム 佐野医院 全港湾関西地本大阪支部 熊本のちと土を考える会 大阪府歯科保険医協会 援助修道会西成修道院 新婦人天王寺支部 全日建運輸連帯労働組合 近畿地方本部 全日建運輸連帯労働組合関西地区生コン支部 全日建運輸連帯労働組合近畿地区トラック支部 佐野医院 京都YWCA平和委員会 北河内平和人権センター 一般社団法人玄冬舎 日本国民救援会北九州総支部 脱原発をめざす 首長会議 朝霞学校ユニオン 新婦人此花支部 西田勝・平和研究室 原発いらない栃木会 聖母訪問会大船修道院 さよなら原発1000万人アクション! 岡山実行委員会 カルメル会修道院 部落解放同盟全国連合会 生活クラブ生活協同組合北海道 全石油和シェル労働組合 JR西日本労働組合関西地本本部 脱原発ネットワーク九州 さよなら原発北九州連絡会 全石油スタンド・ワーカーズ石油労働組合 九大生労組総研 製作地区平和センター 秋田県平和センター 秋田県平和労働組合 さよなら原発日光の会 JR東海労働組合新幹線関西地方本部 阪神産地直送センター なのはな生活協同組合 東電株主代表訴訟 / 女性会議団 日本YWCA

## 賛同個人

近藤知子 堀井千恵子 徐翠珍 中沢浩二 田中節子 池島美紀子 永井通雄 永井長子 西尾漢 山城恵子 渡田正弘 北川諭 稲葉律子 さはしやよい 磯崎直子 麻野他郎 石岡真由海 堀田晴空 関口澄子 須藤自由児 馬場浩太 鈴木卓馬 中村光一 中村敏枝 黒田薫 小川幸子 小西弘泰 山口俊哉 森浩三 三橋秀子 小林アイ子 大山芳一 折口直子 晴夫 安部栄子 持永輝子 有山陽子 川崎悦子 白井美喜子 西塚一男 黒沢大二郎 竹内治男 須永和子 本都南夫 鎌倉淑子 佐原若子 宮崎寛 朝島俊子 川原登喜の 永田文夫 利元克巳 小山高澄 久野衛 矢崎紀 瀧川裕廣 新田容子 牛丸敬子 佐藤みえ 福島みどり 山田みち子 岸上英二 北川れん子 橋本杉子 額須正美 木村祥子 渡辺知佐子 横山義弘・恵子 井上美紀子 深見文子 時政松枝 石川直太 下末かよ子 藤井右治 田島征三 岡本厚子 海渡雄一 末田一秀 斎藤新 新宮慶大 片岡崇子 今大池はるみ 水戸喜世子 池尻京子 井上真美子 青木利市・セヨイ 木村真 橋本和夫 安武雅博 山下久美子 堀田信男 伊藤順 片岡洋子 齋藤純子 能勢亮希 牧野猛子 中島昭子 古田伊公子 小池満里子 奥村貴夫 安達由起 佐々木昭示 川那部浩哉 福村孝 村上幸子 近藤和子 杉田尋子 広瀬かおり 日野田裕子 北川政幸 加盛妙子 上田孝子 藤井石根 三輪浩 今井秀郎 河原井純子 高木久仁子 佐保誠 渡辺輝一 西尾康子 川崎悦子 岸上京子 山本弘史 上野より子 加藤勝彦 山田光一 本領宏子 龍池紀都美 中濱美夜子 関俊雄 関志保子 昭人 中嶋典子 竹田とし子 内田田鶴子 田村和子 櫻井恵子 小田切恵美子 土屋道子 佐々木佳奈子 下村和子 小畑勝彦 古戸このみ 渡辺俊道 井上伸子 中西則雄 坪川裕子 野村佳代 島原良子 瀧川裕廣 長谷川敏子 村田文代 神山邦子 永井栄 前田浩子 辻村幸子 山岡美美子 松谷弘子 土井淑子 渡井佐江美 松本素子 江上啓造 豊巻絹子 山本實 坂原隆子 伊藤明子 荒武重信 久保まよ子 榎本俊秀 筒井由雄 小林裕 小林由紀子 鈴木護 北川華子 穴戸恵子 林昌樹 井口隆史 金井英子 堀田みえこ 中村ひろみ 松崎佳代子 黒部一 長沢正義 竹内千冬 高田博光 阿部道子 鬼頭昌俊 井上智子 能登智江 越田功 中北龍太郎 関一孝 村上聖子 安川秀行 岡田美枝子 鈴木富美 三田宜充 塚本美津子 山本淳子 中川ユミ子 橋本省吾 竹立静子 黒田充憲 土代武 渡部静枝 平井達也 西村忠雄 植木和夫 奥山南二 安倍史子 寺嶋和雄 伊藤真 更家周子 藤井悦子 南部寿則 山本宣子 村上満智子・自由 飛田雄一 梅本多代子 大木映子 塚山千津 一ノ木勝 池松綾子 芦原康江 今飯田保 中井智恵子 高橋国明 出崎智子 木原省治 中村達 金子昌彦 大田美智子 與芝豊 濱野兼吉 笹川栄子 大橋涼子 藤本月子 前川純一 河野雅夫 北村直子 多々納真弓 柳田真 上野千鶴子 大田幸世 吉岡純子 山本弘史 谷川佳子 天野隆 野村いくよ 小島さつき 石黒弘基 長谷川浩一 市川元江 水田ちづみ 豊巻絹子 荒武重信 新藤みづ子 山下孝子 大河内辰恵 大島淡紅子 原育美 山本繁 西本健・祐子 大貫淑子 山本祥子 鈴木紀 山田章博 森田春生 柴橋圭介 品川清子 横山美樹 田村幸雄 杉林聡美 朝倉兼夫 中村哲也 石田正美 青谷俊明 船橋明子 清水瑞穂 高瀬登子 瀧川雄雄 宮本康子 櫻木邦二 井上淳 藤川博正・布子 酒井由布子 齊藤亮子 兼崎順 熊江雅子 高瀬典子 黒河内繁美 政行 長沢幸子 越下正子 友田シズ子 立花由美子 米山美津子 前島英雄 木戸進次・恵子 里井昌介 宮城恭子 永井俊作 沼澤千加 森田鏡 玉城敬子 永井美子 折田昌子 河内慶子 中島哲彦 上川倫子 近藤亨子 太田稔 山本善一 西村孝 門林洋子 大野善子 抽冬香苗 吉田秀子 ますだ京子 土井武・文佳代子 鈴木正史 岡林豊 鳥嶋明子 山本得剛 小端武三 北田もゆる 東山幸弘 山下伸生 山中紀代子 村本剛行 西尾正道 古川 瑛 橋本・正子 服部良一 菊川和子 中島真由美 小松晴子 本田智子 田村栄子 櫻本悦子 田淵直 浅石絃爾 服部祐司 上田久美子 大山とし子 高辻慧子 日野信子 吉野信哉 大石恵子 井上公子 末定琴美 村西俊雄 北條和明 入江幸右衛門 南方一 松本千賀子 田中康子 鈴木成和 島京子 山崎博 田島昭泉 森本寿昭 三輪幸雄 三輪秀弘 岡田亜紀子 田中恵一 くまがいまキ 須藤直子 柴田志麻枝 両内健 藤井利之 二俣和聖 秋山好 北野幸雄 栗原清子 川崎節子 菊地眞幸 庄龍道子 渡部節雄 久能啓輔 関則美枝 大須賀子 小畑力雄 手賀公一 山田薫 末田辰夫 小久保正 井上年弘 生永敬子 榎本みづ枝 大内義栄 宇治谷明美 櫻井薫 石田良正 林あつ子 福武公子 鈴木めぐみ 大越和代 河野敬明 山田真 難波幸矢 奥平公子 村田浩子 野庭美恵子 柴原直美 村西貴子 寺田つたえ 辻元輝美 村上光子 難波勝子 福村皓 馬庭京子 宇野京子 山本貴美 荒原幹英 徳島高見 河村彰子 濱本綾 小林健一知枝 藤田幸代 松永勝子 林浄子 今中健治 田中康子 大橋明子 大塚潤治 平野良一 小山高澄 海野剛弘 垂水正和 相沢一正 館崎やよい 内田彰子 櫻井勝恵 山浦元 三浦真智 市川節子 福園千鶴子 森島子 井手公平 長瀬重喜 小林佳代子 吉田毅 山藤将之 高山佳昌 近藤博子 林敏二 野宮政子 斎藤吉 平良長政 沢村和世 友近満喜子 橋本善一 西山徳子 笠井玉江 渡邊愛子 中島真 宮地まさ代 井谷樹夫 畑真理子 松原京子 井上真紀子 永山富子 貴田月美 向井京子 奥野満 栗原哲 北山ただお 樋口保 堀田秀子 石原あそ 中口達 小畑太作 田館洋子 中村清 大橋義宏 坪井秀雄・千鶴 佐々木留美子 成田忠蔵 中村愛恵 小笠原弘子 阿部陽子 谷井尚子 利元克巳 西川昌廣 田中利代 坪田嘉奈弥 若松浩夫 井手十郎 加藤義雄 坂和俊 木元秀美 赤沢美恵子 船越郷子 上林純子 嶋田亜沙 大野圭子 兼崎順 畑中祥子 浅里耕一郎 岡澤沙 八ガセイコ は枝峻・美恵子 松原千里 矢島祐治・十三子 鈴木智子 山見拓 高松恵子 千田文彦・潤子 松本昭治 吉岡康江 畑幸夫 難波幸美子 藤原輝子 菅原望子 持立朋美 内田智 小島雅春 久米千代子 坂本洋 瀧口由紀子 大森繁 廣原紀美子 生駒晶 山中孝夫 三原泰尚 大竹達 大森和子 清水裕子 広畑貞昭 大丸力 藤田雄 山本時子 中谷実好 阪本美知子 大川光佳 熊谷直道・万寿美 嶋田知美 西田とし子 宮保徹 不動憲治 大野哲朗 井本典子 小西弘泰 樋口正夫 中尾光身 新海敏 佐々木輝香 小浜譲次 鶴岡裕朗 殿平善彦 庄村佳世子 矢野めぐみ 泉由子 八田友紀子 仁木三智子 熊谷剛子 杉山彬 弥生 川田節子 小野三子 曾我日出夫 島崎義孝 勝達子 岡田雅宏 寺戸月美 坪井秀雄 村田真澄 吉田恵子 近藤憲治 中谷俊一 大井哲郎 塚原博 山岸康男 植村邦彦 大西利津子 所やなぎ 高倉茂子 冨田修司 松村克彦 山本折子 飛石一輝 小林圭二 野澤春子 田中一郎 三谷雅子 小笠光美 辻新一 滝桂子 船山 大谷まどか 武田真彦 高橋智子 馬屋京子 戸川卓巳 柳沢典子 野瀬吉夫 三田美智子 小林繁吉 小林徳子 三輪幸雄 三輪春江 赤塚弘美 渡辺輝一 荒川千恵子 樋口幸恵 小林芳朗 瀧川正子 藤岡博 広川一美 仲達いさ子 深江守 井上岳彦 井上千恵 三枝孝 羽泉正浩・河原井純子 田北光子 樋口ちづ子 伊藤恵子 伊藤昌高 樋口正夫 池内了 今井哲郎 近藤和枝 松本素子 はが武 森永雅世 谷井尚子 上岡光子 山本祥子 奥村昌也 小野美津代 渡辺矩夫 和田洋子 金子昌彦 羽子万里 島崎義孝 節井北子 藤本秀弘 中西剛雄 中川さく 野中栄子 東洋子 井倉順子 玉城敬子 田尻義晴 牟田口カオル 原弘美 阿部道子 平田操治 青谷俊明 西郷順子 水田ちづみ 甘原珠恵子 行武裕子 広塚忠夫 米澤謙志 谷黒正明 高橋智子 川那部浩哉 毛利勇二 岸本康子 坂原絹子 安原弘美 松本美代子 西山徳子 天野明美 堀田誠吉 佐々木昭示 佐々木泰子 山本彰子 大塚正子 鈴木護 兼行栄子 荒武重信 宮城恭子 柳田文枝 木野淳平 寺嶋和雄 片山欣三 加藤一 小畑勝彦 早田由美子 嶋田基昭 川川順子 嶋田基昭 鳥居計一郎 塚本邦二 立花由美子 井戸謙一 阪本英一 藤本洋子 佐藤文江 村田文枝 春木の子 川崎春枝 松本素子 菅野真知子 柳田さぐぬ 小畑勝彦 早田由美子 嶋田基昭 川川順子 嶋田基昭 鳥居計一郎 塚本邦二 立花由美子 井戸謙一 阪本英一 藤本洋子 越いけいこ 柳田義治 小林勝夫 三浦育夫 與芝豊 齋藤順夫 吉野直子 玉城敬子 高山幸典 上田昭治 江川協子 岩井健 比嘉孝子 井原東洋一 原田智子 岩田深雪 竹林自然・久榮 菊池順子 堀江誠子 森下珠美 西村久子(匿名72名) 2016.10.27